

II 暮らしの向上

7 スポーツの振興

主担当部局(長)名
 暮らし創造部長 榎田 斉志

目指す姿

「生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」を実現するため、生涯にわたり、「県民のだれもが、いつでも、どこでも、運動・スポーツに親しめる環境づくり」を目指します。

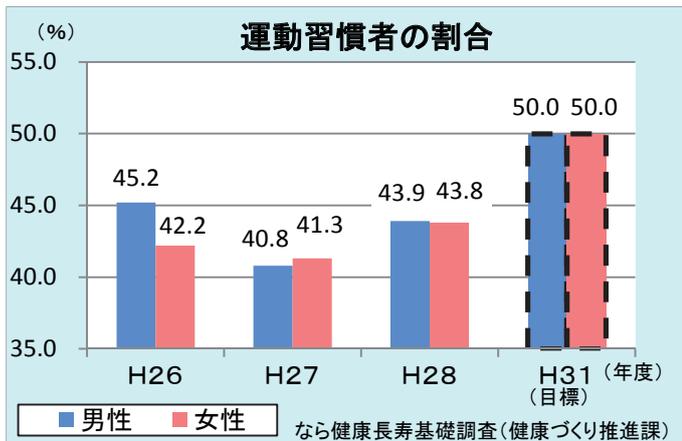


第12回市町村対抗子ども駅伝大会

これまでの成果

- ・奈良県スポーツアカデミー構想検討委員会を開催し、有識者からの提言を得るとともに、民間事業者へのヒアリングを行い、平成29年3月に、奈良県スポーツアカデミー基本方針を策定しました。また、この基本方針を踏まえ、スポーツ医科学に基づく、幼児期の子どもたちを対象とした運動プログラムをあわせて策定しました。
- ・ラグビーワールドカップキャンプ地招致について、平成28年12月に、天理市が公認チームキャンプ地選定プロセスに応募し、平成29年3月には、ラグビーワールドカップ組織委員会による実地審査が行われました。また、東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致については、平成28年度、オーストラリア、シンガポール、ヨーロッパ等において招致活動を実施するとともに、ベルギーからの視察受入を実施しました。さらに、ワールドマスターズゲームズ2021関西については、平成28年10月に、葛城市(綱引)、吉野町(カヌースプリント)が開催地に決定しました。

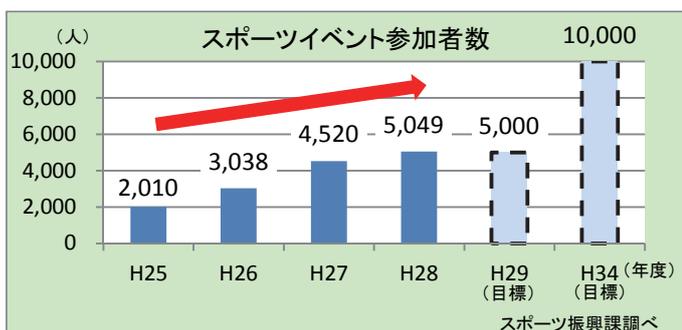
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成31年度までに、1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施し、1年以上継続している人の割合を50%に増やします。(H26年度:女性42.2%、男性45.2%)
取組	運動・スポーツを楽しむ環境づくりや機会の提供に取り組みました。
成果	平成28年度の運動習慣者の割合は、40歳代の男女や60歳以上の男性を中心に上昇したことから、男性が43.9%、女性が43.8%と、平成27年度を上回りました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①県内にある総合型地域スポーツクラブのうち、活発な活動をしているクラブを増やします。 ②スポーツイベント(総合型地域スポーツクラブ交流大会)の参加者数を平成29年度までに5,000人、平成34年度までに10,000人に増やし、スポーツツーリズムを推進します。(H26年度:3,038人) ③平成34年度までに、多くの人にあこがれや感動を与えるプロスポーツ等の試合数を60試合に増やします。(H26年度:32試合)
------	--



取組	幅広い世代を対象とした様々な種目のスポーツイベント(総合型地域スポーツクラブ交流大会)を充実させました。(②)
成果	スポーツイベントへの参加者数は、県内の総合型地域スポーツクラブが活発化してきたことにより、平成25年度の2,010人から年々増加しており、平成28年度は5,049人となり、平成29年度目標の5,000人を達成しました。